

会議録

会議名	令和4年度 第1回知立市総合公共交通会議
日時	令和4年7月12日(火) 午前10時00分～12時00分
場所	知立市中央公民館 1階 大会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) ミニバスの利用状況について 【資料1-1～1-5】 (2) R4年度スケジュールについて 【資料2】 (3) 夏休み期間中の中学生乗車キャンペーンについて 【資料3】 (4) 乗車料金種別調査の結果について 【資料4】 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域公共交通網形成計画の数値目標に対する実績について 【資料5-1～5-2】 (2) 地域公共交通網形成計画の中間評価アンケート案について 【資料6-1～6-2】 (3) 利用促進キャンペーンについて 【資料7】 5. その他 6. 閉会
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿、座席表 ・ 事前配布会議資料 ・ 当日配布資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミニバスガイド、 ・ 「バスのシカクにご用心」チラシ ・ 「感染対策して さあ！公共交通でおでかけだ！」チラシ ・ 「活発で良い議論ができる会議のために。」パンフレット) ・ 「CentX」チラシ
出席者 《 》 氏名は代理 出席者	<p>【委員】山崎委員 ((公財) 豊田都市交通研究所主幹研究員)</p> <p>小林委員 ((公社) 愛知県バス協会専務理事)</p> <p>潮田委員 (愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)</p> <p>大野委員 (名鉄バス(株)運行部運行課長)</p> <p>花村委員 (名古屋鉄道(株)地域活性化推進本部交通サービス担当課長補佐)</p> <p>永井委員 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>磯貝委員 (知立市身体障害者福祉協議会副会長)</p> <p>水澤委員 (知立市区長会 (八橋町区長))</p> <p>岩城委員 (知立市商工会女性部長)</p> <p>山田委員 (公募市民)</p> <p>岡田委員 (公募市民)</p>

	<p>山内委員（中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官） 大林《八木》委員（愛知県都市・交通局交通対策課担当課長） 小川《塚原》委員（愛知県安城警察署交通課長） 林 委員（愛知県知立建設事務所維持管理課長） 高木委員（知立市都市整備部長） 近藤委員（知立市土木課長）</p>
欠 席 者	堀 委員（知立老人クラブ連合会相談役）
内容（概要）	
1. 開会	
(司 会)	<p>定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第1回知立市総合公共交通会議を開催いたします。</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は17名で、全委員18名の過半数を超えておりますので、会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日配布させていただきました「会議次第」、「総合公共交通会議委員名簿」と「座席表」の両面のもの、「ミニバスガイド」、「活発で良い議論ができる会議のために。」の冊子、「バスのシカクにご用心」のチラシ、「感染対策して さあ！公共交通でおでかけだ！」チラシ、「CentX」チラシ、事前にお送りしました「令和4年度第1回知立市総合公共交通会議資料」です。お手元にごございますでしょうか。</p> <p>また、本日は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から極力時間短縮に努めて進行させていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。それでは、はじめに林市長よりご挨拶申し上げます。</p>
2. あいさつ	
(市 長)	<p>本日は、雨の中、またご多用の中、本会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃は委員の皆様におかれましては、それぞれの立場で知立市行政に対し、ご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中、知立市のコミュニティバスである「ミニバス」をはじめ、鉄道、タクシー等の運行事業者の皆様方におかれましては、消毒や換気等による予防策を講じて地域公共交通を維持していただきまして、ありがとうございます。行政としましても、気を緩めず業務にあたっていきたくて考えておりますので、各事業者の皆様におかれましても引き続きご協力をお願いいたします。</p> <p>さて、令和4年度は平成31年度に策定した「知立市地域公共交通網形成計画」の中間年度となり、計画の見直しを行ってまいります。近年、公共交通の利用は少しずつ増加傾向にありましたが、令和2年に国内初の新型コロナウイルス感染者が発生して以降、度重なる緊急事態宣言等の発出に伴う外出自粛により公共交通の利用者数の減少や、地域公共交通を担うバス等の運転士不足の深刻化などが問</p>

(市長) 題となっています。そして社会全体に目を向けると、ICTやAIといった科学技術が急速に進展し、新たなモビリティサービスや自動運転技術など、交通分野への技術展開も進んでおり、都市交通を取り巻く環境は劇的に変化しております。委員の皆様方におかれましても、会議の中で忌憚のない積極的なご意見をいただきたいと思えます。結びにあたりまして、引き続き地域行政への関わりを持っていただくことに心より感謝を申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。

(司会) 知立市総合公共交通会議の委員任期は2年となっており、現在1年が経過しました。今回、人事異動等で新たに委員になられた方もいますが、自己紹介は省略させていただき、委員名簿にてご確認をお願いいたします。また、本日は福祉有償運送を担当する長寿介護課の担当者、中間評価の業務を受注しております国際開発コンサルタントが同席しておりますので、ご承知おきください。議事に先立ちまして、お手元に配布いたしました「活発で良い議論ができる会議のために。」の冊子と2枚のチラシについて、愛知運輸支局 山内様よりご説明をいただきます。

(委員) 【冊子とチラシの説明】

(司会) ありがとうございます。
本日は議事に先立ちまして、報告事項4件、協議事項3件のご審議をお願いします。市民の皆様にとってより便利なミニバス運行ができるよう、さらに協議を重ねていきたいと考えておりますので、委員の皆様方には、ご協力いただきますようお願いいたします。それではここからの議事進行は、議長の山崎委員に交代させていただきます。山崎委員、よろしくお願いいたします。

4. 報告事項

(会長) こんにちは。ご指名にあずかりました公益社団法人 豊田都市交通研究所の山崎でございます。初めての方もみえますので、自己紹介をさせていただきます。私が勤めております研究所は豊田市にある公益財団法人でございまして、交通の事を専門的に研究している団体です。運輸支局の地域交通マネージャーという仕組みに登録している関係で、この会の委員をさせていただいております。県内では高浜市、弥富市の委員も務めております。知立市では計画に基づいて地域公共交通に事業に取り組まれています。今年度計画の中間評価の年となっております。今年度の調査結果を踏まえて、見直すべきところは見直して実践的で実効力のあるいい計画にしていきたいと思えますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして、3. 報告事項(1)「ミニバス利用状況について」を事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1-1～1-5に基づき説明】

- (会 長) コロナ禍前からみると75%ぐらいの利用者数ということです。他の地域でも8割ぐらいに落ちているのでそれよりは少ないですが、令和2年度より令和3年度のほうが利用者は増えている状況です。今年度に入ってからほぼ前年より利用者が増えているという状況でした。こちらについて、ご意見・ご質問等はございませんか。
- (委 員) 傾向として令和2年と令和3年で比較すると利用者が戻ってきているということですが、令和2年から令和3年で減っているバス停がありますが何か理由があるのでしょうか。
- (事務局) 減っているのはホテルクラウンパレスと東知立の2つです。元々の利用者が少ないということもありますし、駅から近いために減ったと考えております。
- (会 長) 現在知立駅周辺の工事でバスに遅れが出ているのでその手前で降りるということとは考えられますか。
- (事務局) 交通規制は年間を通してはありませんでしたので、その影響ではないと考えられます。
- (会 長) 出張者が減ったため、以前は利用されていた方が利用されなくなったといったことではないですか。
- (事務局) 出張の方は駅から歩かれるかと思います。1コースのルートでは、ホテルクラウンパレスは最後になります。今まで利用されていた方も知立市内の方が利用されていたと考えており、人が集まる機会が減ったことが原因であると考えます。
- (会 長) 大幅な減少になっているのでしっかり把握されたほうが良いということですね。
- (委 員) 人が集まる機会が減っているので利用が減っているということですね。
- (会 長) 他にご質問はありませんか。では、続きまして(2)「R4年度のスケジュールについて」を事務局より説明をお願いします。
- (事務局) **【資料2に基づき説明】**
- (会 長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。いくつかのものについては、後ほど協議事項で説明があります。バスの車両の納入までに時間がかかってしまうことが残念です。
- ご質問がないようでしたら事務局より資料3の説明をお願いします。
- (事務局) **【資料3に基づき説明】**

- (会 長) 継続的に平成26年度から取組みを続けています。何かご意見・ご質問等はありませんか。
- (委 員) 公共交通という意味で全体をみていただくと、弊社のバスも路線バスとして運行しております。「公共交通」という意味合いであれば、公共交通全体として見ていただければと思います。できることできないことはありますが、市全体で盛り上げたいということであれば、ご相談いただければと思います。
- (事務局) ミニバスだけではなく、路線バスも組み合わせた啓発が行っていければと思いますので、今後ご相談させて頂きたいと思います。
- (委 員) ご利用されるにあたって、利用の仕方だけではなく行先などお子さんに向けた提案をしていただくことと、先ほどご紹介しました感染症対策の実施などを周知していただくといいと思います。お子さんを通じて保護者の方へも伝わります。路線バスの利用者数も評価項目の中に入っていますので、併せて利用促進をしていただけるといいと思います。
- (会 長) この協議会はミニバスの事だけを考えるものではなく、地域公共交通会議ですので、路線バスやタクシーのあり方も考えていくものです。利用者にとっても路線バスも使えるということを周知することが、バスに対して親しみを持ってもらえることになります。マナカで実施することは難しいですか。
- (委 員) その点については検討の余地がありますが、実施できることから実施したいということもあります。市が考えるお子様への周知について、全体として何かできることはないかということを模索していきたいと思います。
- (会 長) 各公共交通事業者と協力しながら、利用促進策として今後の課題として検討していただきたいと思います。委員から指摘のありましたモデルコースについては、去年作成されませんでしたか。
- (事務局) 観光交流センターにおいて、作成したモデルコースを配布しております。また、今回のチラシの裏面にも3つのモデルコースを掲載しております。
- (委 員) 若干コロナの感染者数が増えてきていますが、自治体によってはこのようなキャンペーンを控えたところもありました。緊急事態宣言等が発令された場合はどうされますか。
- (事務局) 基本的には施設側で利用制限等がかかれば、その状況に併せて利用していただくこととなります。公共交通に関しては、感染症対策をして利用できる状況であれば利用していただきたいと思います。

- (委員) 緊急事態宣言等が発令されたときの対応ですが、公共交通を利用することが制限されているということではありませんし、出かけることをやめていただくというわけではないと考えています。「外出がいけない」という雰囲気を作るのではなく、こういう対策をすれば利用できるといった環境づくりを自治体に行っていただきたいです。また、行動範囲が広がる中学生では、市内の移動だけではなくりますので、自立のために公共交通を利用していただけるといいと思います。
- (事務局) 対策をして外出をしていただけるということを周知して、引き続き利用していただけるようにしたいと思います。
- (会長) 学校や教育委員会の意向で、地域によっては難しいところもあると思います。私が子供のころは、中学生は校区外に出る場合は届出をする必要がありました。できるだけ子供のうちから公共交通に慣れ親しんでもらうことが目的ですので、広域的な移動については課題としていきたいと思います。
では、事務局より資料4の説明をお願いします。
- (事務局) **【資料4に基づき説明】**
- (会長) ICカードの利用が定着してきたということでした。何かご意見・ご質問等はありませんか。
冒頭の支局からの会議開催にあたっての説明にもありましたように、市民委員の方には会議中1度は発言をしていただきたいと思います。
- (委員) 資料としてコロナ禍前と現在を比較していてとても分かりやすかったです。各公共交通には利用に対する数値目標はあるのでしょうか。
- (事務局) 知立市では網形成計画を策定しており、資料5で説明をさせていただきます。
- (委員) 一度「刈谷豊田総合病院」まで利用しようと思って調べたのですが、アプリ等で調べることはできるのでしょうか。
- (事務局) 今までは検索することはできなかったのですが、昨年8月よりミニバスもGoogleマップでバス停位置の把握と経路検索ができるようになりました。名鉄バス様のバスロケーションシステムも併せてご利用いただけますので、現在のバスの運行状況もご確認いただけます。
- (会長) せっかく導入しているのにPRが足りないということですので、もう少しPRしてください。
ここからは協議事項に入ります。最初に、「地域公共交通網形成計画の数値目標に対する実績について」事務局より説明をお願いします。

5. 協議事項

(事務局) 【資料5-1～5-2に基づき説明】

(会長) ただいまの説明に関しまして、ご意見・ご質問がありましたらよろしくお願ひいたします。

(委員) 資料5-1の数値目標ですが、2026年の目標値は掲げられていますが、2021年の目標がいくつで、実績との差がいくつかわかりません。実績は資料5-2の取組をされたことの成果になると思います。2017年を起点としますと、コロナで一旦利用者は落ち込んでいるのでもう一度立て直す必要があると思います。2021年の目標値はたてていないのでしょうか。

(事務局) 毎年の目標値は設定していません。今年度アンケートを実施して利用状況を確認し、新しい生活様式を踏まえて2026年の目標値に反映をさせていきたいと考えております。

(委員) 前年との増減のみ見ても最終年度の2026年に向かって目標が達成できるのかわからないので、毎年ある程度目標値を設定することを今後検討していただければと思います。

(会長) 計画期間が長いので、毎年の目標を設定するべきだったかもしれません。中間評価での目標もなく、現在の実績値が最終目標の何パーセントかが分かりにくいので検討していただければと思います。

(委員) コロナの関係で利用者が減ってきて、やっと落ち着いてきたとの説明がありましたが、令和8年の目標値には遠い気がするので、中間年度ということもあるので何か指標があると良いのではないかとすることは聞いていて思いました。

(会長) 協議事項になっていますが、この先目標値を下方修正等することを検討する可能性はありますか。今後の会議の中で協議しますか。

(事務局) 第2回目の会議の中で、アンケートの分析結果をご報告させていただきます。目標値の修正が必要であればそこで審議していただくことになります。

(会長) ではここで審議するという必要ありませんね。

(事務局) 実績値や実施した内容についてご承知おきいただければと考えております。

(会長) 賛同を得るというものではないので、このまま中間評価を進めていただくと言うことでお願いします。では協議事項の2つ目、「公共交通に関する市民アンケート」の実施について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料6-1～6-2に基づき説明】

(会長) 計画策定時に実施した調査結果と比較できるような形で実施するという事です。ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委員) 前回のアンケートで指摘されたことで取り入れたことはありますか。

(事務局) 前回のアンケートの中で、自宅のそばを走るバスがあることを知っている方が少なかったので、モデルコースの作成をして周知をしているところです。

(会長) 個別の質問をアンケートでどのように活かしていくかと言う部分はいろいろな考えがあるとは思いますが、一般的にはバスをどう認識しているか、どんな使い方をされているかという実態を認識するために実施します。実態を認識しないと計画をたてることができません。把握した認識から計画を立て、対策をしていくことによってバスの認知度が高くなるといった、評価のための元となる部分になります。

(事務局) 市民アンケートの中で認知度の向上や満足度を指標としているので、調査をしていきたいと思えます。

(委員) 今回の中間評価は何を目的にしているのかが今ひとつわかりにくいです。最終的な評価結果で目標を下げるために利用されるだけになってしまうといけないと思えます。令和2年から令和3年の利用増が思ったより少ないのであれば、それはなぜかと言うことがわかるアンケートにしないとイケませんが、今の調査表ではそういった項目が見られません。では何に活かすのかと言うことになりますが、コロナによってどうして利用が減ったのかということがわかる項目が欲しいです。普段の外出についての問2の⑤の部分で、コロナが落ち着いた後の外出について聞いていますが、皆が落ち着いたと言う認識になるのはいつでしょうか。また、問4の選択肢に「感染症対策が充分ではない」という言葉がありますが、そもそも対策がされていることを認知しているのでしょうか。「感染症に不安である」という部分がわかるようにすると今後の対策につなげていけると思えますので、検討していただけるといいと思えます。

(事務局) 目標値を下げるための中間評価ではいけないので、現在の状況把握とどういった部分で追加の施策をしていくかということを検討していればと考えております。

(会長) 問4の感染症対策の部分ですが、運行事業者で十分な対策を実施しているのであれば、それをどう感じているのか、「感染に対して不安がある」といった表現の方がいいかもしれません。

(事務局) 表現を検討させていただきます。

- (委 員) 今回のアンケート6ページ部分の知立市のこれまでの取り組み部分に関しては、さまざまな施策で取り組んできたことへの意見を確認するという狙いですか。平成28年のアンケートからバスで行きたい施設と公共交通の費用負担という設問が今回のアンケートではありませんが、どうしてなくしたのでしょうか。
- (事務局) アンケートのボリュームが多くなると回収率は下がる傾向があります。今回の狙いとしては、網形成計画で定めた目標値を評価する項目を必ず聞き、それと併せて実施した施策について多くの方はご存知ないと思いますので、このアンケートで知ってもらうためにこの設問を追加させていただきました。計画目標の評価に関わらない部分は割愛させていただきという趣旨です。
- (委 員) 問17、18の設問については目標に影響するものではないということですね。
- (会 長) なるべく回収率を上げるため、また、大幅な路線変更などは今回されないということからシンプルな調査票にされたということです。
もし事務局に意見を言う場合はいつまでに言えば間に合いますか。
- (事務局) 今週中にご意見をいただければ修正できます。
- (会 長) 内容に関しましては、本日いただいた意見を踏まえて修正しつつ、他に何かあれば今週中に事務局に連絡をいただくと言うことで、調査していく内容については事務局に一任していただくということでご承認いただける方は、明確な意思を確認するために挙手をお願いいたします。
- (委 員) (全員挙手)
- (会 長) ありがとうございます。挙手全員で、ご承認いただきましたので、今日の意見を踏まえて修正しつつ、実施していただきたいと思います。
最後の協議事項となります、「利用促進キャンペーンについて」を事務局より説明をお願いします。
- (事務局) **【資料7に基づき説明】**
- (会 長) ただいまの説明に関しまして、ご意見・ご質問がありましたらよろしく願いいたします。
- (委 員) チラシの裏面に「公共交通を利用しませんか」ということで取りいれていただきありがとうございます。キャンペーン目的の2つ目に公共交通全体の利用回復につなげると言うことが書かれておりますので、ミニバスだけではなく公共交通全体に目をむけていただけるのでありがたいと思います。次回以降弊社としましてもご協力できることがありましたらご相談いただければと思います。

- (事務局) 各公共交通機関の事業者の方と協議しながら、実施させていただきたいと思います。
- (会長) 例えば、無料乗車券を路線バスやタクシーで100円割引券として利用することはできるのでしょうか。
- (委員) 運賃から引くとなると届出が必要となりますが、その分を補填していただくということであれば届出は不要であると運輸支局のほうから伺っておりますので、実施する余地はあると思います。
- (委員) タクシーの方は福祉券等で対応しているものもありますので、運賃の割引ではないという形であれば、可能であると考えます。
- (会長) 他の公共交通機関でも使っていただけるようなものも考えることができると思います。
- (事務局) 検討させていただきます。
- (委員) ドリームマルシェでの配布は各店舗に依頼するのでしょうか。
- (事務局) ドリームマルシェの開催団体と調整したところ、各店舗での配布は可能であるとの回答をいただいております。
- (委員) せっかく配布するので公共交通のブースを設置して、無料乗車券の利用方法等を説明しながら配布をされると、バスの乗り方講習会を行うよりも多くの方に来ていただけたらと思います。
- (事務局) 無料乗車券の配布が先着200名となり、来場された方全員に配布することができません。無料乗車券の配布は各店舗にお願いし、その後にブースに寄っていただけて説明をすることは可能であると考えます。
- (会長) イベント時に何か配布すると、皆欲しがらるけど実際は利用されないと言うことはよくあることです。バスの理解を深めることと併せて無料乗車券を配るというご提案です。今後も続いていくのであれば、市がブースを出して説明するというのも効果的であると思います。以前豊田スタジアムで産業フェスタを開催していたときに、豊田市の交通政策課もブースを出して、名鉄バスさんご協力のもと、バスを1台持ってきて制服を着て写真を撮って、豊田高専の学生さんがその写真で缶バッジを作るということを実施していました。
- (委員) 聴覚障害者の方も見えるので、手話の説明はあるのでしょうか。
- (事務局) ブースを出せるスペースが確保できたら、財務部局とも調整させていただきたいと思います。

- (委 員) ブースを市で設置できるのであれば、購入したレシートを持っていくと無料乗車券がもらえるようにするのはいかがでしょうか。どうしてもミニバスに乗りた
い人が、手間をかけてもらいにいくような仕組みにした方が、無料なのでもら
っていきこうとなるよりはいいのではないかと思います。また、手話の方への対
応もできるかと思っています。
- (事務局) ブースを作って配布となれば、利用される方に券がお渡しできるかと思いま
す。
- (委 員) どのくらいの頻度で実施されますか。また、手話の方への対応ですが、費用をかけ
ずに対応していただけたらと思います。
- (事務局) 頻度に関しましては現在調整中です。手話の方への対応については確認をさせ
ていただきたいと思います。
- (会 長) ぜひちりゅっぴの着ぐるみを着てブースを作ると面白いと思います。
- (委 員) 先着 200 名とされた根拠はありますか。
- (事務局) 安城市で実施されているキャンペーンを参考にさせて決めさせていただきます。
- (委 員) 全員に無料乗車券を配布することはできませんか。多くの方にバスに乗っていた
だきたい、バスを知っていただきたいということであれば、全員に配布してもいい
のではないかと思います。
- (事務局) まだ無料乗車券にどのくらい需要があるのかがわかりません。20周年記念の
際に広報に無料乗車券をつけて配布させていただきましたが、普段乗られる方
が無料乗車券を利用されていたという印象がありました。今回の主な目的は、
普段乗らない方に乘っていただくこととなります。
- (委 員) 各店舗で配布をしてもらうということですが、1 事業者あたり何枚配布するの
でしょうか。無料乗車券の利用は何割を想定していますか。
- (事務局) 店舗の数が毎回違うため、現在 1 店舗あたりに配布する枚数は決まっていませ
ん。使用率は 5 割いかないのではないかと考えております。
- (委 員) 各店舗によって利用時間帯が異なるので、無料乗車券のはけ方にばらつきが出
るかと思います。出店者が多くて、1 店舗あたりの配布が 5 枚程度になると先
着になるのかという問題も出てくるかともいます。
- (事務局) 最初の配布枚数はこちらで調整しますが、その後の配布に関しては店舗同士で
調整していただければと考えております。
- (会 長) そうなると、市がブースを出すということも検討した方が良さそうですね。

- (事務局) ブースを置けるかと言うところも主催者との調整が必要です。
- (委員) ドリームマルシェは民間に委託して開催されるということですね。(無料乗車券について) 市の出費があるかないかと言うところの明確な回答がありませんでしたが、市の出費は発生します。無料乗車券を発行されると言うことであれば、運行委託料の中で市の負担は発生することになります。路線バスやタクシーで無料乗車券を利用されると、本来は利用者が負担すべきところを市が負担することになるので、そういった意味で市の負担は増えるということ付け加えさせていただきます。
- (事務局) 委員のおっしゃる通り、無料乗車券の部分を市が補填することになります。
- (会長) イベントを実施する際に、商業者が負担するという仕組みも今後考えていくべきだと思います。アイシンが実施されている「チョイソコ」がそういった仕組みになります。今後の課題として整理していくといいかと思います。
- (事務局) 検討させていただきます。
- (委員) グーグルでの検索は可能になったとのお話がありましたが、各事業者のアプリとの連携はされているのでしょうか。
- (事務局) 現在 GTFS データをオープンデータとして公開しており、各事業者さまが利用していただけるようにしております。
- (委員) 各事業者がアプリに取り入れるかどうかということでしょうか。
- (委員) せっかくお話を振っていただきましたので、ここで「CentX」のご紹介をさせていただきます。ダウンロードしていただきますとおわかりいただけますように、ナビタイム様の検索エンジンを利用しております。愛知、岐阜、三重県の電車、バス、コミュニティバスすべて検索することができます。刈谷豊田総合病院までの経路もお調べいただけます。こちらを活用していただければ、公共交通でどのように行くことができるかと言うことをマルチモードで検索することができます。また、イベント情報につきましても入力することができますので、ぜひタイアップして協力していければと考えております。
- (会長) こちらを利用するとミニバスも検索することができるということですね。
- (委員) はい。その他、GTFS データが登録されていないようなコミュニティバスについても対応しております。
- (会長) ぜひご利用いただければと思います。

- (委 員) 名鉄バスのバス停から名鉄バス以外のバス停を目標とすると、エラーになることがありますので、改善していただければと思います。また、ミニバスのダイヤですが、発着時間が分かりづらいです。商業施設や病院は毎時間同じ時間にバスが発着すると利用しやすくなるのではないかと思います。乗り換え需要も考えて、駅を起点に出発時間等を調整することはできないのでしょうか。
- (委 員) 商業施設や医療機関で停車してダイヤ調整を行う必要があります。ミニバスにつきましては、停車して調整を行うことができる場所が少ない状況です。さらに、一時間に一本の運行で考えていますので、朝・夕の渋滞と昼の時間帯を考慮しますと、通過できる時間帯でそれぞれのバス停ダイヤを決める流れとなります。
- (会 長) そういった検討もされていますが、実際にはうまくいかないという例があります。その中でも、なるべくわかりやすいものをとということで改正の際に検討しています。公募市民の方から何かございますか。
- (委 員) 普段車の生活をしておりミニバスを利用していないのですが、もっとホームページなどを見て情報を得ていきたいと思います。
- (会 長) いろいろな情報がありますので、ご確認にただいぜひ周りの方にも知らせていただけるといいと思います。
利用促進キャンペーンについては色々ご意見が出ましたが、間に合うのであれば検討の余地はあるのではないかと思います。
- (事務局) 色々方法を検討させていただきます。
- (会 長) 事務局に一任して、ただいまの議案に関しまして、承認していただける方は挙手をお願いします。
- (委 員) (全員挙手)
- (会 長) ありがとうございます。
挙手全員で「利用促進キャンペーンについて」は、議案どおり承認させていただきます。事務局の方で準備をお願いします。
議題としては以上となります。進行を事務局にお返しします。
どうもありがとうございました。
- (司 会) ありがとうございました。その他にはありません。
委員の皆さんからご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

6. その他

- (司 会) 事務局より1点ご報告いたします。

- (事務局) 次回、第2回目 知立市総合公共交通会議ですが、10月28日(金)10時より知立市役所 3階 第2・3会議室にて行います。開催通知に関しましては9月ごろに委員の皆様へ送付させていただきます。ご予約いただきますようよろしくお願いいたします。
- (司 会) それでは、本日の総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。本日は、お忙しい中ありがとうございました。

7. 閉会